

第 4回 宮城舞台技術者協会会議 議事録

日時	2020 年 6 月 23 日 13 時 00 分 ～ 14 時 50 分	場所	せんだい農業園芸センター
議題	・宮城舞台技術者協会の事業について		

出席者	今野芳明(ファクトリーK) 石井忍、小林道子(舞台監督工房) 斎藤豊寿、斎藤環江(ライティングケン) 半田透(ステージクルー) 濱田一郎(サウンドデザイン) 寶玉浩太郎(コントライブ) 佐藤菜奈恵、羽田貞浩、鎌田美咲(ステージワーカー) 清水目貴義(パラダイスプロ) 荒井豪(エーライン) 棟居尚(ムネスエ音響) 伊藤幸夫(東北共立) 渋谷昌弘(ピーエムシー) 橋本徳郎(フォーバックス) 黒田浩(黒田屋) 菅原玄哉 小宮芳紀 太田淳也 山品晃彦(THE MODERN WORLD) 村下弘修(ICC) 法人代表者、個人事業主 計23名			
決定事項	■協会の定款について ○現在のHPにある内容で決定する ■協会費について ○法人事業主10,000円、個人事業主3,000円とする ■次回の定例会開催について ○7/8 夜～ 場所未定			
会議内容	■新規会員の紹介 ○東北共立さん、黒田浩さん、丹野優香さんが入会されました。 ■GIGS プロジェクトの日程 ○6/18に仙台市内で感染者が1名確認されました。その為に、GIGS側としては、知事を読んで7/9に発信していくことは、難しいと判断し、中止となりました。 ○7月18-19日 STAND UP SENDAI LIVE AID の協力につきましても、主催者さんに対して、こちらの準備が間に合わない為、辞退いたしました。 ■定款について ○前回、16日の会合の後に、ホームページに載せておきましたが、皆さん、ご覧になれましたでしょうか？今日までのところ、ご意見等特にいただいておりません。問題なければ、定款として、決議をさせていただきたい。尚、定款は、今後、会を進めて行く中で、「変えた方が良い」等必要に応じて、定例会で検討し、皆様にご意見をいただきながら、必要な箇所を変えていきたいと思う。 ■定款決議 ○全員一致で、決定する ■協会費について ○会を運営していくにあたり、会議室使用料等で経費が必要になる。現在、法人、個人の区別があるが、どのように協力していただければよいか。コロナ禍の中で、会費をお願いすることは、非常に心苦しいが、ご理解いただきたい。出来る限り、節約しながら運営していきたい。 →●法人も個人も同額ではいいのではないかな。 →●法人が10,000円、個人が3,000円はどうだろうか。 →●法人個人関係なく、一人目が3,000円とか5,000円、二人目以降1,000円というふうな、社員数にしてみたらどうか。 ○現在の会員状況を区分分けすると、法人(従業員有り)、ひとり法人、屋号をもつ個人事業主(従業員有り、無し)、個人(屋号なし)の5区分になる。 できれば今回は、ざっくりと決めて見たい。 → ざっくりでもいいんじゃないかな。			

■協会費決議

○全員一致で、決定する。法人が10,000円、個人が3,000円とする。

■お金の管理について

○協会として口座をつくり、事務局で、管理致します。今回は、会計は設けておりません。お預かりしたお金ですので、収支報告書は、2月の総会時に提示します。ご心配な方は、通帳をお見せしますので、ご相談下さい。また、事業ごとに使用内容も含め、出来る限り、ご報告させていただきます。

○コロナ禍により、総会が実施出来るかどうか、11月または12月の定例会にて皆さんに改めて、ご相談させて下さい。

○口座番号等、会費の納入方法は、後日お知らせ致します。

■定例会について

○定例会についての今後の開催について、決めておいた方がいいのではないか。

→●週末は外してもらった方が、嬉しい。

○月曜日は、週末の現場の片づけ、金曜日は準備、これらを想定して、事務局としては、「火」「水」「木」がいいのではないかと。しかし、「火～木」は専門学校等の授業をもっているかたがいるので、どうしたらいいか。

→●「火～木」に開催するのであれば、夜に開催していただいた方が嬉しい。

→●事務局で必要に応じて決めてもらっていい。

→●夜だと、借りれる会場が限定されるかもしれない。

◎次回は、7月8日水曜日の夜に開催する。場所は、追って決めます。

◎ホームページ内の「調整さん」の使い方。出欠の変更は、自分の名前をクリックすると訂正できます。ご活用ください。

■仙台市の「多様なメディアを活用した文化芸術創造支援事業」について

○選考の結果、「保留」との通知がきました。26日以降に再度結果が送られてくるとのこと。通知によりますと、支援数を増やす予定であること、支援金額を、50万と100万で検討していましたが、1団体あたりの支援金額の減額や新たに、追加予算等で支援数を増やす内容の通知でした。

採用決定や不採用通知も、他の団体さんには届いているようですので、まだ少しだけ期待して、待ちます。

■文化庁「令和2年度補正予算等における文化芸術関係者への支援」について ①

○現状、申請の詳細等まだ発表されておりませんので、もう少し、詳細がわかるまで、お待ちください。

○状況が分かり次第、「教育用映像作成事業」が適用できるか、検討してお伝えしたいと思います。

■文化庁「令和2年度補正予算等における文化芸術関係者への支援」について ②

○「コロナ時代のバックステージツアー」と題し、劇場内(受付・ロビー・客席・舞台・楽屋)での感染防止対策を劇場で 検証し、その報告会を劇場で開催する。報告会の対象は、バレエ教室の先生、カラオケ教室、民謡教室の先生、このような皆様に報告会を行う。(以上案件)

○仙台市の市民文化事業団さんとの話によると、「各会館としては、地域の皆さんに、利用して欲しいというのが、正直なところ。元々、5月に事業団で開催予定だった事業もなくなり、若干の予算が余っている。『コロナ時代のバックステージツアー』に予算をあてがうことも可能かもしれない。

○可能であれば、幾つかのジャンル(演劇・舞踊・歌唱・楽器演奏など)を短めに上演し、その後、参加者との質疑応答及びバックステージの視察の時間を設け感染防止対策の具体的なご提案をしたいと思う。

＝開催案＝

①青年文化センターの改修工事のための引っ越しの前までであれば、事業も可能ではないか。→ 8月上旬が希望

②宮城野区「パトナホール」で毎年スタッフラボを開催しているが、そのオープニングイベントに、『コロナ時代のバックステージツアー』を開催してもいいのではないかと。→ ホール使用料が無料。

■活動するにあたって、保険の加入の提案について

○GIGSプロジェクトの際の会合の時も話にでていたが、従業員の扱いについて、休日として活動に参加すると、万が一のことが起きた際に困ることになるかと。また、フリーランスさんで、傷害保険に加入されていない方もいるようである。協会でも、都度、保険に入ってはどうかと提案します。

○保険は、活動の1週間前までに加入すれば大丈夫とのこと。準記名式(無記名式)での加入を検討しております。

=対価が発生しない場合の団体傷害保険=

- ①保険期間 1ヶ月、 傷害死亡・後遺障害 200万円プラン 管理下中の傷害危険特約付き ⇨ 1名あたり、490円(40名加入で 19,600円)
- ②保険期間 1年(60日) 傷害死亡・後遺障害 200万円プラン 管理下中の傷害危険特約付き ⇨ 1名あたり、2,090円(40名加入で 83,600円)

=対価が発生した場合の団体傷害保険=

- ③保険期間 1ヶ月、 傷害死亡・後遺障害 200万円プラン 就業中のみ傷害危険特約付き ⇨ 1名あたり、220円(40名加入で 8,800円)
- ④保険期間 1ヶ月、 傷害死亡・後遺障害 200万円プラン 特約なし ⇨ 1名あたり、690円(40名加入で 27,600円)
- ⑤保険期間 1年(60日) 傷害死亡・後遺障害 200万円プラン 就業中のみ傷害危険特約付き ⇨ 1名あたり、1,000円(40名加入で 40,000円)
- ⑥保険期間 1年(365日) 傷害死亡・後遺障害 200万円プラン 特約なし ⇨ 1名あたり、7,120円(40名加入で 284,800円)

*就業中のみ傷害危険特約付きとは、通勤・現場・事前打ち合わせ・事前準備・定例会など実業務に関わる事故ケガのみ対象になるという特約です。協会の懇親会や打ち上げやレクリエーション的な活動中の事故ケガは対象外になるそうです。

年会費を考えると、①、③～⑤の保険加入が妥当かと思います。ご検討よろしくお願いします。

*コロナに特化した保険は、現在販売されておりません。因果関係が成立しないためだそうです。

■意見交換、情報提供

○協会のHPは、検索欄に名前をいれてもヒットしません。閲覧者数が少ないためです。申し訳ございませんが、URLの打ち込みをお願いします。

○協会からメールを送る場合は、URLを入れて欲しい。→ いれさせていただきます。

○HP上に意見の書き込みをできる場所を作る予定です。お時間少しく下さい。

○免許取得のための配信をしていければいいと思う。どんな免許がいいか、希望を事務局までお知らせください。

○各メーカーさんにも、協会を立ち上げたことを伝えはじめました。声がけしてほしいメーカーさんとかあれば、事務局までお知らせください。

○普段、現場のアルバイトにお願いしている専門学校の学生さんが、授業の進みが早く、理解不足のまま授業が進んでいる。わからないとも言えない空気の中で授業を行なっているようである。2年生は、音響舞台機構の試験があるため、座学がメインになり、実習も少なく、戸惑っている子がいる。普段は、現場にでて身につける技術もコロナ禍で経験することができない。そんな生徒のために、実習の部分で協会として手伝えることはないか。→ 現状、早急に生徒さんを集めて実習することはできないが、コロナが落ち着いて、ある程度の安全性が確保されて、実現できる。

○6/14にイズミティーでおこなわれたパレエ公演の報告を改めて。追記分

主催の先生が、非常に恐れている。開催後2週間は、保健所からの連絡がないとか、不安になっている。教室の生徒さんは、70人前後いるが、実際に参加したのは、20人程度。小さい子が2名程。ホールのロビーは、電気を付けずに完全クローズ。座席もご家族のみで、パラっと。ホールさんも消毒液等色々準備していただき、とてもよく協力していただいた。

今回は、ホールでのリハーサルがなく、先生が作品の1つ1つを解説付きで YouTube にあげてくださり、それをみて、音響のきつかけを確認したり、照明のあかりを考えたりした。PCの得意な先生だったので、Qシートを作る必要がないくらいの状況でした。

先生や親御さんの感触としては、ホールで公演をやりたい気持ちがいっぱいであるが、コロナの感染者がでたらどうしようと、不安の方が上回っているようである。

○コロナ対策打ち合わせシートを作ったらいいのではないかな。→ (山品さんの発言により、山品さんに叩き台の作成をお願いしました)

会館さんによって、対応が様々である。会館事務所の対応として、じっくりと打ち合わせもできない会場もある。こちら側としては、細かく知りたいことなどあったが、1時間以内に退出してください等言われた。

○電力ホールさんは、サーモの導入を検討しているが、設置する場所を考えているようである。エレベーターの仕様も変更しようとしている。

会場の利用料は、半額にしている。7月末までに、来年3月までのホールの利用を中止した場合は、キャンセル料無料になるそうです。

○協会の名前を名刺に記載をお願いします。名刺を次に印刷される際にぜひお願いします。→ 配置場所をきめてほしい → HPにお知らせします。

○協会のロゴ募集します。我こそはと思う方、ぜひお願いします。